

アクティブラーニング入門(Introduction to Active Learning)

担当教員名	佐伯 亮太
学科, 科目詳細	都市システム工学科 1年 前期 一般科目 必修科目 1単位 演習
学習・教育目標	(D)(E)
科目的概要	参加することを前提に、他者と対話し、自ら調べ、行動する。アクティブな学び方を知り、基盤となる知識や態度を身につける。自分と他者を知り、学び合う関係性をつくり、課題を見つけ定義する学びを体験する。
テキスト(参考文献)	テキストは指定しない。適宜資料を配布する。
履修上の注意	学生同士での議論を中心に参加型学習の手法によって展開する為、授業へ参加する姿勢は必須。個々が学ぶ姿勢を持ち、勇気をもって自らの考えを声に出し、他者の声に耳を傾けることで学ぶ。日々の出来事に興味を抱くこと。
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課 1) 毎授業での「ふりかえりシート」で授業内容の理解度と授業参加の積極性を評価する(40%) 2) 中間・期末試験で参加への積極性と自己理解を評価する(20%) 3) 授業内成果物での課題定義の的確性と論理性を評価する(40%)
連絡先	saeki.r@oneroof.co.jp

授業の計画・内容

第1週 「アクティブであるとは、どういうことか」 授業の狙いを理解し、共に学ぶ仲間として出会う。

第2週 合宿研修

第3週 「アクティブになるには何が必要か」 参加して学ぶことを経験する。

第4週 「参加の経験(1) 自分の考えを持つ」 与えられたテーマから個人で課題を探し、見つける。

第5週 「参加の経験(2) 話す、聞く」 見つけた課題を仲間に話し、仲間から聞き取る。

第6週 「参加の経験(3) 考え、深める」 仲間と課題を再考し、捉え直す。

第7週 「参加の経験(4)考えをまとめる」 仲間での課題を抽出し定義する。

第8週 中間試験

第9週 中間試験の振り返り「(自分の)参加の形はどうだったか?」 グループでの動きを分析する。

第10週 「課題発見(1)自らの課題を発見する」 多角的な視点で課題を発見する力を養う。

第11週 「課題発見(2) グループで課題を定義する」 各々の課題から合意形成する力を養う。

第12週 「課題発見(3) 他者からのフィードバックを得る」 課題をグループ間で共有し再定義する。

第13週 「課題発見(4) 仮説を立てる」 課題と解決のための仮説を立てる。

第14週 「課題発見(5) 他者に伝える」 他者に課題を伝えるプレゼンテーションをつくる。

第15週 「課題の発表」 プrezentationを通し、自ら課題を定義する学びとは何かを確認する。

期末試験